

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公開番号】特開2011-15136(P2011-15136A)

【公開日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-003

【出願番号】特願2009-156906(P2009-156906)

【国際特許分類】

H 03K 17/687 (2006.01)

H 03K 19/0175 (2006.01)

H 02M 7/48 (2007.01)

H 02M 1/08 (2006.01)

【F I】

H 03K 17/687 A

H 03K 19/00 101A

H 02M 7/48 Z

H 02M 1/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月21日(2011.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この特許文献2においては、出力ノードの電圧レベル変化時におけるフローティング電源電圧の変動による誤動作を防止するために、以下の構成を利用する。カレントミラー回路のミラー比を1より小さくする。ミラー電流を抵抗素子により電圧信号に変換してオン・オフ指令信号を生成する。カレントミラー回路のマスター側の電流およびスレーブ側のミラー電流における正規の制御電流Icとこのフローティング電源の変動に伴う誤差電流Ieの比、Ic/Ieは、同じとなる。ドライバの入力論理しきい値を、誤差電流が流れた場合に、ドライバの出力信号が変化しないレベルに設定する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

第1の内部ノードに対し第1および第2の電流供給部を設け、第2の電流供給部をワンショット駆動している。したがって、高速で電流変化を生じさせて出力トランジスタのオン・オフを制御する信号を生成することができる。また、ワンショット駆動であり、電流消費の増大は抑制される。